

# うみ・ひと・くらしシンポジウム2017in和歌山について

平成29年9月7日(木)

企画・裁培養殖部

“うみ・ひと・くらしフォーラム” (関 いづみ／東海大学, 三木奈都子／水産総合研究所, 副島 久実／水産大学校)は, 様々な立場から海に関わる女性を中心に漁村の今とこれからを考える任意のグループとして活動しています。今年は, 女性の加工販売グループに, 『いかに若い人を呼び込むか』という深刻なテーマについて, 加工販売に携わっている約150名の女性が全国から集まり熱く討論しました。

4人のパネラーの1人は, 甕島の長浜集落で, 離島交付金を上手に活用しながらエビ類の加工製造販売を行っている下野尚登氏が, 若者と高齢者の橋渡しを旨く行っている事例を紹介しました。

また, 昨年から奄美大島で2回のミニシンポを開催していることもあり, 今年は, “奄美いしょむんネットワーク”から4名の女性や事務局が参加し, 自分達の取組について積極的に紹介していました。

このほか, シンポジウムの始まる前に恒例の加工品の試食会も開催され, 東町漁協女性部が, “ぶり大根”のほか, “鰯王のアヒージョ”を出品し, 参加者から好評のため, 参加した女性部長は色々な質問攻めにあっていました。

このように, 今年は, 本県から5グループ約30名の加工販売に携わっている女性らが参加し, 全国の先駆者達と交流を図ることにより, 今後は, 補助金や交付金から独立した【起業化】を目指して, さらに頑張っていく姿が頼もしく感じられた一日となりました。

- 1 開催日時……………平成29年 9月2日(土)12:00~18:00
- 2 開催場所……………和歌山大学 観光学部 講義室
- 3 参加者等……………約150名／東町・牛根・垂水市漁協, 奄美いしょむんネットワーク(奄旨海房 魚匠, 奄美小町, (株)漁師の店さかな, 事務局)
- 4 討論内容……………いかに若い人を呼び込むか

